

優秀賞

じいじ、ばあばかんげいパーティー

イギリス ロンドン日本人学校四年 加藤 優希

私は今年の四月、ロンドンに来ました。先に来ていたお父さんと私と弟とお母さんと家族四人で暮らしています。いろいろな所に出かけ初めて見る物もたくさんあり、楽しいし、テニスやゴルフをするのも好きだけれど、夏に日本に一時帰国するお友達がいらいやましくて、少し日本に帰りたいな。お友達に会いたいな。家に帰って私のへやに入りたいなと思っていました。

そんな時、おじいちゃんとおばあちゃんがイギリスに遊びに来てくれることになりました。私は「やったー」ととてもうれしくなりました。ひさしぶりにおじいちゃん、おばあちゃんに会うのが少しはずかしくてドキドキしてきました。弟と二人で相談して「じいじ、ばあばかんげいパーティー」をひらく計画を立てました。お父さんにもないですよ。まず、空港におかえに行った時すぐ分かるように横だんま

くを作りました。分かりやすいようにカラフルな文字にして絵も書きました。部屋のドアには「かんげいパーティーはこちら」の案内の紙をはりました。案内状もつくったら、弟が「チケットもつくろうよ。」

と言ったのでチケットもつくりました。弟が係員さんになってチケットをわたすことにしました。とてもワクワクしてきました。パーティーのプログラムも考えました。私がひらめいたのはオリジナルのおどりを考えておどることです。弟が「ドラえもん」の曲がいいと言ったのでドラえもんの曲にしました。マジックや体そうも入れたのでプログラム九番まで続けました。五日間練習してやっとかんげいにおぼえました。

今日はおじいちゃん、おばあちゃんが来る日です。私は朝からそうじをしたり、リハーサルをしたりし

てどきどきしました。夕がた空港にむかえに行って作った紙を開いて待っていました。長い時間飛行機に乗って大丈夫かなあと心配になりました。しばらくして出てきて笑顔で手をふってくれてほっとしました。家について夕食後いよいよ本番です。今まで以上にがんばりたいと思って弟に声をかけました。「では、はじめます。」

と司会の私がいった時少し笑ってしまいました。最初は弟も少しきんちようして横を向いてはさかずかしそうでしたが、はじめの言葉も大きな声で言えました。おどりも少しまちがえたけれど笑顔で上手におどれました。ピアノのれんだんもうまききましましたが、弟が最後に指をはさんで泣いてしまい中断しました。でもおじいちゃん、おばあちゃんはすぐよろこんでくれたのでよかったです。私が作ったネックレスをおばあちゃんがしてくれてうれしかったです。

うまくいかない所もあったけれど、考えて行動して楽しい会ができたことは感動してよい思い出になりました。夜は温かい気持ちでおじいちゃん、おばあちゃんの間に入って一緒にねました。

